

みまや通信

2021年10月
第14号



紹介

心血管カテーテル治療センター特集

Contents

目次

- 心血管カテーテル治療センター特集 ……2～7
- 地域医療機関の方へ ……8
- 患者さんへのお願い ……9
- 院内トピックス ……9
- 外来担当医一覧 ……10～11



いわき市医療センター公式
Facebook

いわき市医療センター公式フェイスブックを開設しています！
ぜひ「いいね！」をお願いします！



心血管カテーテル治療センター

～身体に負担の少ない治療の実現に向けて～

心血管カテーテル治療センター長 山本 義人

皆さんは、「カテーテル治療」と呼ばれる治療法をご存知でしょうか？

この「カテーテル治療」は、手首や鼠径部（足の付け根部分）等からカテーテルと呼ばれる細い管を血管内に挿入し、狭くなった血管をバルーン（風船）やステント（金属製の網目状の筒）で広げる治療法です。

当センターでは、1982年から、循環器内科において、冠動脈（心臓に血液を送る血管）を

中心とする心臓カテーテル治療を行ってきましたが、医療技術の進歩に伴い、治療範囲を四肢末梢動脈や腎動脈など全身の血管に広げるとともに、専門的、集中的に治療を行うため、2010年5月、心血管カテーテル治療センターを設置しました。

今回は、同センターが行っている様々なカテーテル治療等について皆さまにご紹介します。

1

虚血性心疾患の治療

「虚血性心疾患」は、心臓の栄養血管である冠動脈の異常により、心臓が血液不足に陥る病気で、大きく「狭心症」と「心筋梗塞」に分けられます。虚血性心疾患は、心電図など様々な検査で診断できますが、さらに詳しく調べる場合は「心臓カテーテル検査」を行います（図1）。

（キーワード）

「狭心症」……動脈硬化などで冠動脈が狭くなり、心臓へ流れる血液が不足して、胸痛（痛い、締め付けられる、重苦しい）が生じる病気です。

「心筋梗塞」……動脈硬化が原因で冠動脈が突然ふさがれ、胸痛が長時間続き、心筋の一部が壊死する病気です。心筋梗塞は、心臓に重大なダメージを生じさせるため、突然死や後遺症を残す可能性があります。

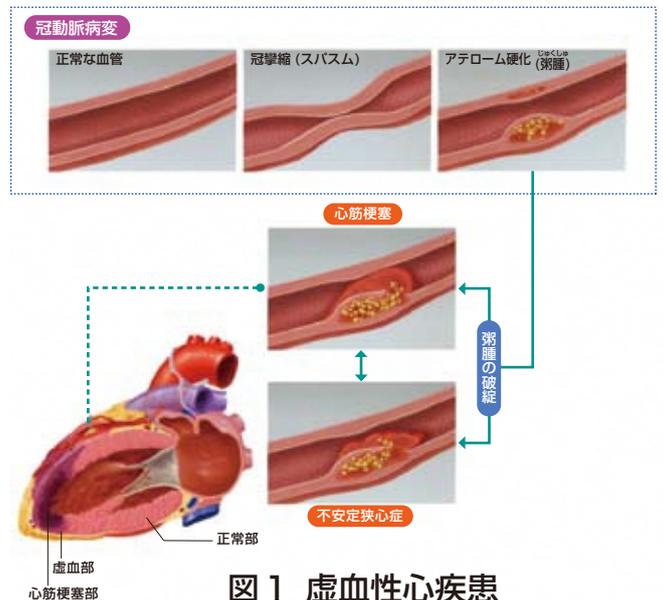


図1 虚血性心疾患

（画像提供：トーアエイヨー株式会社）

【心臓カテーテル検査】

手首や鼠径部から直径2mmほどのカテーテルを血管内に挿入し、レントゲンで体内を透視しながら、心臓の状態を調べる検査です。この検査では、冠動脈の走行や狭窄・閉塞の有無、心臓の収縮力、心臓の内部を仕切る扉（弁）の機能、不整脈の原因など、心臓の様々な状態を知ることができます。

検査時には局所麻酔を行い、内容にもよりますが30分～1時間程度で終わります。基本的に2泊3日の入院が必要です。当センターでは、年間約2,000件の心臓カテーテル検査を行っており、心筋梗塞など緊急時には365日24時間対応しています。

【経皮的冠動脈形成術 (PCI)】

虚血性心疾患が判明した場合、カテーテルを使い、冠動脈の治療を行います。この治療は、経皮的冠動脈形成術 (PCI: Percutaneous Coronary Intervention) と呼ばれるもので、1977年以降、全世界で広く実施され、国内でも年間268,000件以上行われています。

PCIでは、ガイドワイヤーと呼ばれる特殊な細い針金を使って、バルーンを血管内に挿入し、狭窄・閉塞した部分で膨らませ血管を広げます。また多くの場合、治療効果を長持ちさせるため、

ステントを血管内に留置し、血管を補強します (図2~5)。

治療時間は1~2時間程度で、心臓カテーテル検査と同じく局所麻酔で行います。

当センターでは、年間500~600件のPCIを実施しています。また、高度石灰化病変や慢性完全閉塞病変などの難易度の高い患者さんの治療や、最新の治療機器を使った治験など、先進的な取り組みも多数行っています。

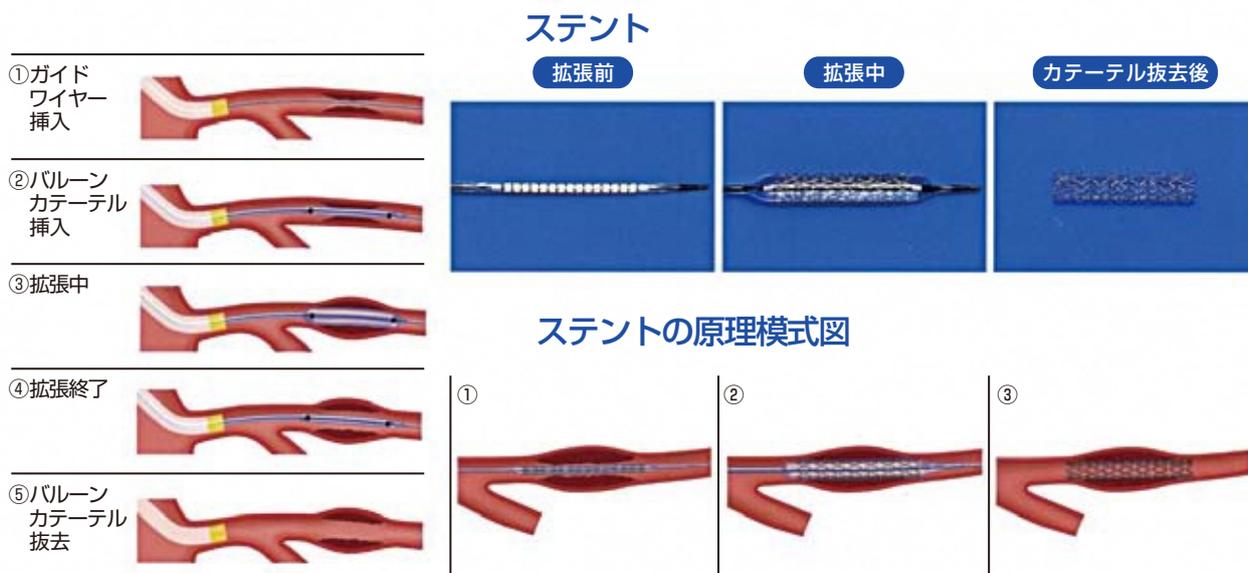
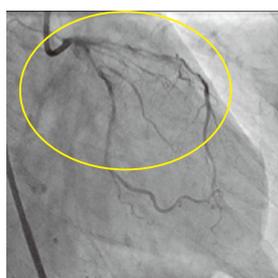
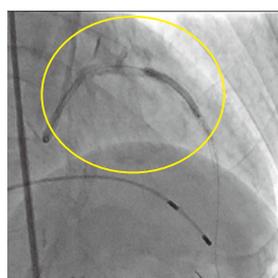


図2 PCIの原理模式図 (画像提供: トーアエイヨー株式会社)



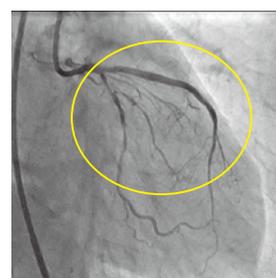
冠動脈が閉塞し、虚血している

図3 PCI治療前



虚血部にステントを留置

図4 ステント留置



閉塞部分が開通

図5 PCI治療後

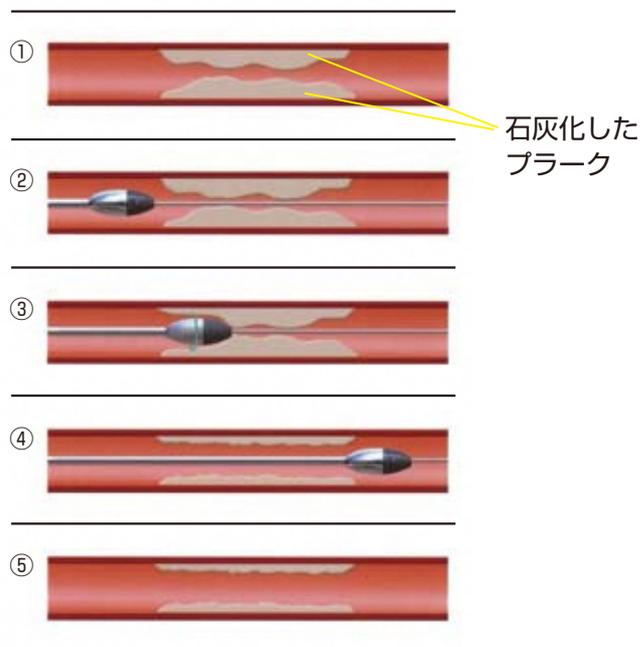
【難易度の高い患者さんの治療】

多くの場合、バルーン治療によって症状を改善することができますが、中には十分な効果を得られない場合があります。

その一つが高度石灰化病変です。虚血性心疾患は多くの場合、柔らかい「油かす (プラーク)」が堆積し、血管内が狭くなっていますが、高度石灰化病変の場合、プラークが石のように固くなっているため、バルーンで血管を拡

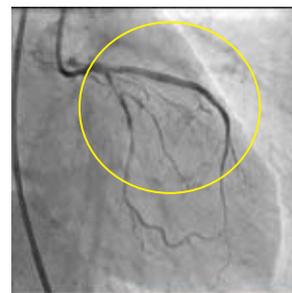
げることができません。このような場合には、「ローターブレード」という器械を使い、ダイヤモンドの粉末が付いたドリルでプラークを削り取ります (図6、7)。

また最近では、より広範囲にプラークを削ることができる「ダイヤモンドバック」と呼ばれる器械も使用可能となるなど、治療の幅が広がっています (図8)。



※柔らかいものは削れず、固いものだけが削れる仕組みで、健康な血管を傷つけにくくなっています。

図6 ローターブレードの原理模式図
(画像提供：トーアエイヨー株式会社)



石灰化したプラークをローターブレードで削り取る

図7 ローターブレード



図8 ダイヤモンドバック
(画像提供：メディキット株式会社)

2 末梢動脈疾患 (PAD) の治療

「末梢動脈疾患 (PAD: Peripheral Arterial Disease)」は、脚などの血管に動脈硬化が生じ、血管が狭くなったり、詰まったりして血液の流れが悪くなることで発症する病気です。

この病気になると、歩くと足が痛くなり休憩すると良くなるといった症状が出たり、下肢に冷感、しびれ感、皮膚の色が青黒くなるといった症状が出たりします。さらに病状が進むと、じっとしていても足が痛むようになり、潰瘍ができたりします。また、下肢動脈にこの病気がある人の約4割は、冠動脈や脳血管にも同様の病気を抱えているといわれています。

PADは、メタボリックシンドローム(糖尿病、



高血圧、脂質異常症) や喫煙によって、発病しやすくなるとされ、また動脈硬化が引き金となるため、60歳を超えると発病の割合が急激に高まります。高齢化が進む日本では患者が年々増加しており、既に10万人以上いると推定されています。

また、症状が悪化しやすく、治療後の経過も良くないのがこの病気の特徴です。全 PAD 患者さんの5年生存率は約60%といわれ、これは大腸がんやリンパ腫の患者さんとほぼ同じ生存率です。足の指に潰瘍や壊死が生じるなどの重症患者さんの場合、5年生存率は約40%、10年生存率はわずか10%と大幅に低下します。さらに下肢切断に至った患者さんの場合、切断した2年後に15%が反対側の下肢の切断、15%が大切断(足関節より上の切断)に至り、30%が死亡するとされています。このため、PADの治療には下肢の切断を避け、カテーテルによる血行再建術や創傷治療を行います。

当センターでは、2007年から下肢を中心とした末梢動脈カテーテル治療を行っています。また、治療が困難な重症下肢虚血の患者さんについても、形成外科と連携し、下肢大切断の回避に取り組んでいます。

【経皮的末梢血管形成術 (EVT)】

当センターでは、PADの患者さんに、経皮的末梢血管形成術 (EVT) と呼ばれる治療を行っています。このEVTは、バルーンやステントにより、狭くなった血管を拡げ、血流を回復させる治療です。

治療に使うバルーンは、直径が1.5mm～12mm、長さも20mm～300mmと種類が大変豊富なため、画像診断装置を使って、患者さんに最適な大きさのものを選びます。

EVTでは、鼠径部や手首などからカテーテルを挿入し、そこからガイドワイヤーを使って、バルーンやステントを血管内に持ち込むため、

非常に複雑な狭窄や閉塞でも血流を回復させることができます。このため、腹部から両下肢までの逆Y字型の太い動脈が詰まり、痛みで歩行困難となった患者さんでも、血流を回復させ、症状を改善することができます (図9～11)。

近年では、血管の再狭窄を抑制する薬のついた薬剤溶出バルーン (DCB) が広く使われています。また昨年には薬剤溶出ステントも使用が可能となり、治療効果も非常に高いため、これらを上手に使い分けることで、長期的な治療成績の改善も期待されています (図12、13)。

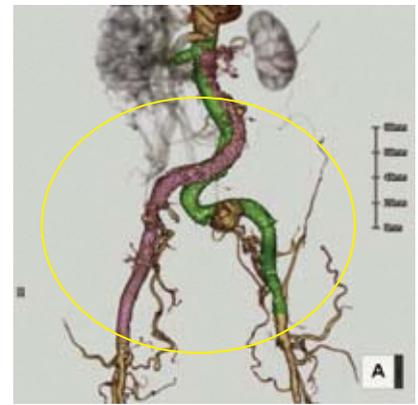


動脈の詰まった部分

図9 下肢動脈カテーテル治療前



図10 閉塞した部分をバルーンで拡張



治療により、血流が回復した部分

図11 下肢動脈カテーテル治療後



図12 薬剤溶出バルーン
(画像提供：日本メドトロニック株式会社)

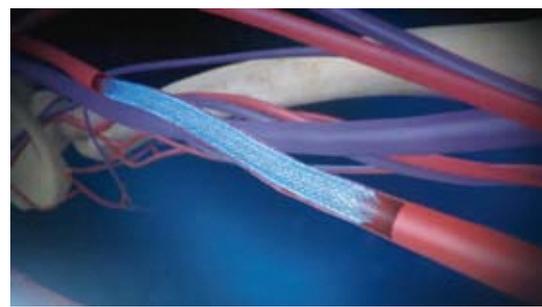


図13 血管内への薬剤溶出ステント留置
(画像提供：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社)

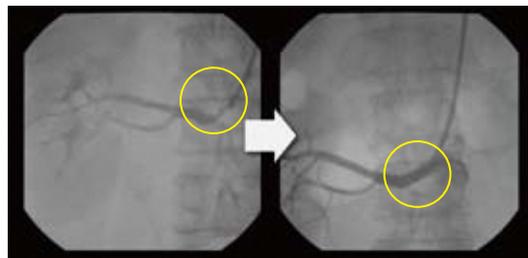
3 カテーテルを使った様々な治療

これまでご紹介したもののほかにも、当センターでは、カテーテルを使った様々な治療に取り組んでいます。

【腎動脈インターベンション】

カテーテル治療は腎動脈の狭窄にも有効とされ、腎機能回復や悪性高血圧の改善にも一定の効果が認められています。

当センターでは、エコー等で事前に治療の適性を確認し、腎動脈に対するカテーテル治療を行っています。手首の血管からカテーテルを挿入し治療を行うため、開胸手術に比べて身体への負担が軽減されます（図 14）。



腎臓につながる動脈が狭くなっていたが、治療により血流が回復した

図 14 右腎動脈（起始部狭窄）に対してステントを留置

【シャント血管カテーテル治療】

血液透析を行う場合、十分な量の血液を確保できるよう、動脈と静脈を直接つなぐ手術を行い、「シャント」と呼ばれる血管を作ります。しかし、このシャントは狭窄を繰り返しやすいため、透析専門の病院では、何度もバルーン拡張によるカテーテル治療が行われてきました。

当センターでは心臓カテーテル治療の実績を生かし、治療効果の維持に取り組んでいます。また、完全に詰まってしまったシャント血管についても、冠動脈の治療技術を応用したカテーテル血行再建を行うなど、シャント再作成（手術）の回避に取り組んでいます（図 15～17）。



閉塞部分

図 15 治療前



バルーンで拡張

図 16 治療中



シャント血流回復

図 17 治療後

【カテーテルアブレーション(RFCA)】

当センターでは、特に難易度の高い「難治性不整脈」の根治治療にも取り組んでおり、筑波大学 青沼和隆教授を招き、「カテーテルアブレーション (RFCA)」を行っています。

このRFCAは、血管を通じて治療用のカ

テーテルを心臓に挿入し、不整脈を発生させる部分を焼灼する治療です。当センターでは、焼灼部分に目印をつける「カルトシステム」や、冷凍焼灼する「クライオバルーン」といった器械を導入しています（図 18、19）。

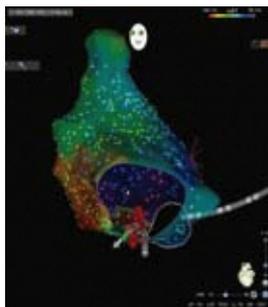


図 18 カルトシステム

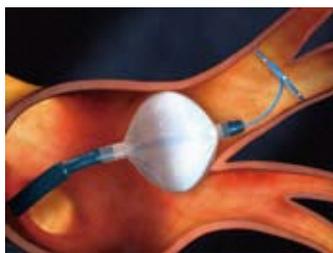
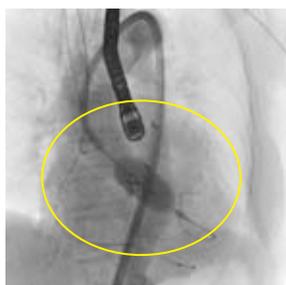


図 19 クライオバルーン
(画像提供：日本メドトロニック株式会社)

【経カテーテル大動脈弁置換術 (TAVI)】

心臓の内部には、血液の流れをコントロールする弁が備わっていますが、加齢等によって、この弁が正常に機能しなくなると、血液の流れが悪くなったり逆流したりするなどし、体に様々な悪影響を及ぼすため、機能不全となった弁は、人工弁に交換する必要があります。

TAVIが導入される前は、開胸手術によって



大動脈弁を置き換えている (血管内経由)

図 20 経カテーテル大動脈弁置換術 (TAVI) の様子

弁の交換が行われていましたが、TAVI は、太ももの付け根等からカテーテルを血管内に挿入し、心臓の弁を置き換えるため、身体への負担が大きく軽減されました。当センターでは、心臓血管外科の入江主任部長と二人三脚で、これまでに 200 例以上の患者さんを治療しています (図 20、21)。



図 21 TAVI に使用する人工弁

(画像提供 左:エドワーズライフサイエンス株式会社
右:日本メドトロニック株式会社)

4 ペースメーカー・ICD・CRT治療

当センターでは、完全房室ブロックや洞不全症候群などの高度徐脈等、何らかの原因で機能不全となった心臓の根治療法として、ペースメーカーの植込みを行っています。また、心室細動など命に関わる重症な不整脈の治療として、植込み型除細動器 (ICD) による治療のほか、心臓のポンプ機能に障がいがある患者さんに対する心臓再同期治療 (CRT) も行っています (図 22)。



図 22 心臓再同期治療 (CRT)

(画像提供: 日本メドトロニック株式会社)

今回ご紹介しましたように、心血管カテーテル治療センターでは、循環器内科を中心に、複数の診療科が連携しながら、患者さんに負担の少ない様々な治療に取り組んでいます。

受診を希望される場合は、かかりつけ医からの申込 (診療予約申込書の FAX による予約) となります。受診方法等の詳細は、当センターホームページをご確認ください。

執筆者 紹介

山本 義人



平成19年4月、総合磐城共立病院循環器内科着任
平成30年4月、循環器内科 主任部長に就任
平成30年12月から、心血管カテーテル治療センター長として活躍

【資格】日本循環器学会認定循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医・指導医、日本内科学会認定内科医、日本高血圧学会認定高血圧専門医、TAVI実施医、浅大腿動脈ステントグラフト実施医



地域医療機関の方へ

連携登録医の参加のご案内

当センターは地域医療支援病院として、連携登録医(医科・歯科)の参加を推進しています。

登録を希望される場合は、登録申請書をホームページからダウンロードいただき、FAXまたは郵送にて、患者サポートセンターへ提出くださるようお願いいたします。登録は随時受け付けています。

登録医制度とは？

地域の医療機関と当センターとの緊密な連携により、医療水準を向上し、よりよい医療を患者さんに提供することを目的としています。また、登録していただくことにより、スムーズな患者さんの紹介に加え、図書室等の当センター施設の利用、当センターで開催する抄読会や各種研修会への参加、広報誌の配付などのメリットがあります。

検査依頼に関するお願い

検査を依頼される場合は、検査希望日(第1希望、第2希望)のご記入をお願いします。希望日をご記入いただきますと、最短で翌日までに検査日をお返事することができ、よりスムーズな予約につながります。

また、令和3年7月から、検査依頼書の様式を一部変更しましたので、当センターホームページにてご確認ください。

登録医の申請書、検査依頼書の様式はこちらから！

いわき市医療センターホームページトップ

→ 地域医療機関の方へ

URL・・・<http://iwaki-city-medical-center.jp/chiiki/renkei.html>



患者サポートセンター地域医療連携グループからひとこと

患者サポートセンター地域医療連携グループにご紹介いただいた患者さんが、車椅子やストレッチャーで来院される場合、事前に医療機関を通じてご連絡いただくと、ご来院の予定時間に合わせて、患者サポートセンターの看護師が正面玄関でお迎えすることができます。

なお、到着時間に変更が生じた場合は、患者サポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。



患者サポートセンター地域医療連携グループを経由した診療予約について

- 1 患者さんのご希望に添った診療科医師・受診日時の予約が可能です。
 - 2 予約診療のため、待ち時間が短縮されます。
 - 3 事前にカルテを準備しますので、カルテの作成時間が短縮されます。
- 患者さんからの直接の予約申し込みはお受けできませんので、ご了承ください。

このページに関する
お問い合わせ

いわき市医療センター 患者サポートセンター 地域医療連携グループ ☎0246-26-2250(直通)



患者さんへのお願い

当センターでは、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、外来を受診される患者さんに、直近2週間の生活状況等を確認させていただく場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

お伺いする主な内容

患者さんご自身や同居されているご家族等について、次のような確認をさせていただいております。

- 発熱や咳などの症状の有無
- PCR検査等の実施状況
- 新型コロナウイルス感染症に感染した方や濃厚接触者と判定された方との接触の有無
- 介護・福祉サービス(デイサービスやショートステイ、訪問介護など)の利用状況
- 感染流行地域や感染者急増場所への往来
- 集会やイベントなど不特定多数の方が集まる行事への参加の有無

院内トピックス

「サポートサロン えん」だより



担当看護師が
2名交代制になりました

がん患者さんやご家族が、ゆったりとくつろぎ、安らげる場を提供し、また必要な支援を受けられるようサポートするため、1階に「サポートサロン えん」を設置しています。ここには、看護師が常駐し、訪問される方々のお話を伺っています。新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、患者さんたちの交流の場が少なくなる中、当サロンは、様々な感染対策を行いながら、通常どおり毎日開設しています。療養生活の不安や心配事を誰かに聞いて欲しい、相談したいという方は、是非「サポートサロン えん」にお立ち寄りください。

えん

※【お詫びと訂正】みまや通信第13号(令和3年6月発行)の編集後記において、内容の一部に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

(誤) 本市出身の書家である金澤翔子様

(正) 本市とゆかりのある金澤翔子様

外来担当医一覧

区分	ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
◆ 内科 ※IBD=炎症性腸疾患 糖=糖尿病科外来 内=内分泌科外来 ※一つの欄に複数の名前がある場合は、記載の医師が当番制により担当します。 ※禁煙外来は、患者サポートセンターを通しての予約となります。											
内科 一般(新)	E09	油井 満		油井 満	油井 満 禁煙外来14:00	(当番制)			油井 満		(当番制)
消化器内科	E08	高橋 成一		池谷 伸一 須貝 吉樹 (交代)		越後 紘治 西丸 響 (交代)		高井 智剛 猪狩 (交代)		土佐 正規 池田 智之 (交代)	
	F31									上野 孝治	
	E11	池田 智之				中山 晴夫		池田 智之		越後 紘治	
	E12	須貝 吉樹 (隔週)		高井 智		須貝 吉樹		池谷 伸一		猪狩 剛	
	E13				土佐 正規 IBD専門	土佐 正規	高橋 成一 IBD専門		西丸 響		高橋 成一
循環器内科	F22	山本 義人 (新患)		瀬川 将人	第1・3 ペースメーカー	山下 文男		山本 義人 (第1・3)	山本 義人 (第2・4)14:00~		塙 健一郎
	F23	工藤 俊		杉 正文	第2・4 ICD	崔 元吉		杉 正文 (新患)			野木 正道
	F24	草野 亮太				土屋 聡		渡邊 俊介			千葉 直貴
糖尿病・内分泌科	E15										渡辺 (糖) 崇
	E17	小野 利夫 (糖)		小野 利夫 (糖・内)				小野 利夫 (糖)			大 学 (交代)(糖)
	E18				渡辺 崇 (再診のみ)(糖)	渡辺 崇 (糖)					齋藤 悠 (糖)
血液内科	F32	阿久津 和子		齋 敏明		濱崎 洋一		濱崎 洋一	阿久津 和子 14:00~		齋 敏明
脳神経内科	E15			大 学							
心療内科	F25	岩橋 成壽		岩橋 成壽		岩橋 成壽		岩橋 成壽			岩橋 成壽

ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
◆ 小児科 【午後(専門外来診察)は完全予約制】 ※循=循環器 血=血液 内=内分泌 ア=アレルギー 新=新生児発達 1=1ヶ月児健診 予=予防接種 ※循=循環器 腎=腎臓 神=神経										
B41	鈴木 潤	森島 重弘	鈴木 潤	(交代)	鈴木 潤	遠藤 起生	鈴木 潤	遠藤 起生	鈴木 潤	
B52	塙 淳美	石井 まり	野寺 真樹	塙 淳美	野寺 真樹	野寺 真樹	野寺 真樹	野寺 真樹	藤江 弘美	藤江 弘美
B53	(交代)	吉原 康	(交代)		大原 信一郎	大原 信一郎	(交代)	塙 淳美	野寺 真樹	吉原 康
B54					(交代)	鈴木 保志朗			(交代)	
B43				本田 義信						本田 義信
◆ 小児外科 ※月曜日午後の診察は、午前中の手術の状況により休診する場合があります。										
B44	(手術)	神山 隆道	佐野 信行		(手術)	神山 隆道	神山 隆道		(手術)	佐野 信行
B45		佐野 信行	尾形 誠弥			尾形 誠弥	尾形 誠弥			尾形 誠弥
◆ 皮膚科 ※火曜日の診察は10:00からになります。										
F42			非常勤	非常勤	非常勤					
◆ 心臓血管外科										
F33	遠藤 由樹	入江 嘉仁		入江 嘉仁	遠藤 由樹					
F34	中野渡 仁	深田 靖久			北川 彰信	深田 靖久				
◆ 呼吸器科 ※内=内科 外=外科 ※呼吸器内科は、全て再来診察のみとなります。 ※禁煙外来は、患者サポートセンターを通しての予約となります。										
B22			(手術)				福原 光朗(外)			
B23	高木 玄教(外)								大 学(外) (院内紹介)(第1・2・4・5)	
B24	大 学(外) (院内紹介)月1回									
B25	大 学(内)								大 学(内)	
B26			大沼 菊夫(内)				大沼 菊夫(内)			
◆ 外科										
A16	新谷 史明		川口 信哉		川口 信哉		白相 悟		吉田 寛	
A17	小林 直哉		白相 悟		根本 紀子 乳腺		河野 えみ子		永井 有	
A18			吉田 寛				佃 和彦			
A19	根本 紀子 乳腺				九里 孝雄 甲状腺		乳腺外来・非常勤 (第2・4)		根本 紀子 乳腺	
A14			土師 陽一				小久保 翔志			
A13			藤川 奈々子				藤川 奈々子			

◎学会や緊急手術等により急遽変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

◎当センターでは予約診察を行っており、表中の 部は予約優先（一部完全予約制）となります。詳細は各診療科でご確認ください。

令和3年10月～

 = 予約診察

フ-ズ	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
◆ 形成外科 ※形成外科は日にち予約となります。										
F36		檜垣 仁志		檜垣 仁志		(当番制) 14:00～		檜垣 仁志		明星 里沙
F37		前田 藍		明星 里沙				明星 里沙		前田 藍
F38		埴原 弘道		前田 藍				岡田 朋之		埴原 弘道
F42		岡田 朋之						埴原 弘道		
◆ 産婦人科 ※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。										
F51	(交代)		金杉 優		西山 浩		西山 浩		西山 浩	
F55	(交代)		本多 つよし		本多 つよし		本多 つよし		本多 つよし	
F62	(交代)		大関 健治		金杉 優		大関 健治		大関 健治	
F64	三瓶 稔		清野 恭子	1ヶ月健診	三瓶 稔		清野 恭子		三瓶 稔	
◆ 整形外科 ※脊=脊椎 外=外傷・骨折 手=手・外傷 足=足・外傷 肘=肘・外傷 肩=肩・股関節 股=足・股関節 膝=膝関節・スポーツ ス=スポーツ 腫=腫瘍 ※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。										
A01	鎌田 久美 股一	安永 亨 15:00～16:00 ス	菅野 敦子 骨格矯正 (第2・4)		安永 亨 膝一		長島 智春 手外		安永 亨 膝一	
A02	中川 理久 一		長島 智春 手外		笹島 功一 外足		笹島 功一 外足		後藤 悠樹 一	
A06	中村 正隆 脊一		江尻 莊一 手腫		箱崎 道之 腫一		江尻 莊一 手腫		中村 正隆 脊一	
A07	相澤 利武 肩股				相澤 利武 肩股					相澤 利武 肩股 15:00～16:00
A08	大泉 樹 肩股		利木 成広 手外		鎌田 久美 股一		利木 成広 手外		大泉 樹 肩股	
A09	(交代)		鈴木 丈夫 手外		(交代)		(交代)		大谷 晃司 (第1・3・5) 脊一	
A14					千葉 美詩央 一					
◆ 脳神経外科										
A12	鈴木 保宏		(手術)		鈴木 保宏		(手術)		鈴木 保宏	
A13	石田 朋久		(手術)		石田 朋久		(手術)		石田 朋久	
◆ 泌尿器科 ※水曜日は、新患の診察は行っておりません。										
B31	(交代)		徳山 聡		徳山 聡 (手術)		徳山 聡		井上 拓也	
B32	(手術)		上野 誠司		竹田 篤史 (手術)		上野 誠司		上野 誠司	
B33	(手術)		竹田 篤史		上野 誠司 井上 拓也 (交代)	(手術)	井上 拓也		竹田 篤史	
◆ 眼科 ※火曜日と木曜日の受付時間は、10:00までになります。月・水・金曜日の午後は、予約検査・治療のみとなります。										
E04	三浦 直晃 (検査治療)		三浦 直晃 (手術)		三浦 直晃 (検査治療)		三浦 直晃 (手術)		三浦 直晃 (検査治療)	
E03		(検査治療)		(手術)	大 学 (検査治療)		(手術)		(検査治療)	
E02	大 学 (検査治療)			(手術)		(検査治療)		(手術)		(検査治療)
◆ 耳鼻咽喉科【完全予約制】										
G02	森田 真吉		森田 真吉		(交代)		森田 真吉		(交代)	
G03	久岡 巧麻	腫瘍外来	久岡 巧麻	検 査	(交代)		久岡 巧麻	処置	(交代)	
G04	鶯沼 むつ貴		鶯沼 むつ貴		(交代)		鶯沼 むつ貴	小手術	(交代)	
G05	芦澤 翔平		芦澤 翔平		(交代)		芦澤 翔平		(交代)	
◆ 歯科口腔外科 ※午後は予約診療となります。										
G14	(交代)				内藤 博之		佐藤 浩子		(交代)	
G16	(交代)	(小手術)	(手術)		鈴木 翔太 (小手術)		鈴木 翔太 (小手術)		(交代)	(小手術)
G17	(交代)				佐藤 浩子		内藤 博之		(交代)	
◆ 麻酔科 ※01=術前評価 02=ペインクリニック ※当番制=麻酔科医師が当番制で担当します。 ※月～木曜は、日にち予約となります。										
4階 01		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)
4階 02										飯嶋 千裕
◆ 放射線治療科										
O4		藤本 圭介	藤本 圭介		藤本 圭介 非常勤(新患)		非常勤(再診) 藤本 圭介			
◆ 緩和ケア内科										
A18		阿部 道夫								池谷 伸一
A12							渡邊 睦弥			
◆ 透析センター外科										
F31			小柴 貴明				小柴 貴明			



編集後記

平成26年度から毎年恒例となっているスクラブ(医療用白衣)の授与式が行われました。式当日は、相澤院長から、研修1年目の先生13名へ、左肩に市のイメージキャラクターであるメピカリと各先生の名前が刺繍された「メピカリスクラブ」が授与されました。このスクラブには、良い医師になってほしいとの期待と、充実した研修を送っていただきたいとの思いが込められています。

新型コロナウイルス感染症の影響から、マスクを着けての集合撮影となりましたが、マスクの下は皆さん嬉しそうな表情でした。

基本理念

「慈心妙手」

わたしたちは、市民の健康と生命を守るため、安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指します。

「慈心」

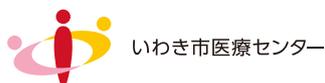
(じしん: 相手を慈しみ思いやる気持ち)で患者さんに接し、

「妙手」

(みょうしゅ: 優れた医療技術)で診察、治療を行うことです。

基本方針

1. 浜通り地区の中核病院としての役割を担います。
2. 地域と連携し、高度医療、先進医療、救急医療の充実に努めます。
3. 明日を担う医療従事者を育成します。
4. 患者さんと職員との信頼関係を築くことに努めます。
5. 安全で安心な医療を提供するため「チーム医療」を実践します。
6. 自治体病院として良質な医療の提供と健全経営に努めます。



いわき市医療センター

みまや通信

●編集・発行／広報委員会 ●発行責任者／相澤 利武
〒973-8555 福島県いわき市内郷御厩町久世原16
TEL 0246-26-3151(代)
FAX 0246-26-2404(経営企画課)
<http://iwaki-city-medical-center.jp/>
Email:kyoritsu@iwaki-city-medical-center.jp